

(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 25企画費

◎事務管理の経費

事務管理事務

【 行革推進課 】

【総合計画上の位置づけ】

計画の前提

行財政運営: 地方分権社会に対応した持続可能な行財政基盤の確立と効果的な都市経営をめざします

【事業の目的】

対象 市職員

意図 最少の経費で最大の行政サービスを提供するため。

効果 職員数の適正な管理を行い、社会情勢の変化に即した組織の構築に努め、効率的且つ効果的な行政運営を行う。

【事業の内容】

(1) 事務管理事務

- ・ 職員の定数管理、執務室の配置など事務管理に係る業務を行った。

(2) 事務改善事務

- ・ 職員提案制度など事務改善に係る業務を行った。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,375	23,375	21,613		1,762

主な支出内訳

・ 事務管理事務

事務管理に係る定期刊行物等消耗品費

161

窓口レイアウト改修用修繕料

2,835

窓口レイアウト改修用LAN修正等委託料

998

窓口レイアウト改修用備品購入費

17,482

・ 事務改善事務

職員提案制度に伴う報償費

137

[illegible]

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・弾力的な人員配置についての課題を整理する必要がある。 ・今後とも更に直営管理施設に対し、市民サービスの向上や管理の効率化を図るため、新たな指定管理者制度の導入を検討する必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・第3次鎌倉市総合計画第2期基本計画中期実施計画を推進し、当面する課題や市民ニーズに対応できる組織づくりを目指すため、組織の見直しを実施し、簡素で効率的な組織づくりを行った。 ・業務の見直しやごみ収集業務の委託化実施等により、職員数適正化計画の推進を図った。 ・ごみ収集業務の委託化を前提として、ごみ収集業務に係る技能労務職職員を学校技能員として配置転換し、委託化の拡大を図った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・直営管理施設について、新たな指定管理者制度の導入検討が十分できなかった。 ・新たな委託化の検討が十分できなかった。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・新たな指定管理者制度導入については、サービスの質や費用対効果等を勘案しながら、引き続き検討していく。指定管理者制度導入済みの施設についても、多くの施設が更新時期を迎える平成22年度に向け、「指定管理者制度導入の手引き」の改定を行う。 ・新たな委託化の検討を行う。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性
	平成21年度から開始したごみ収集業務の他、新たな指定管理制度導入や民間委託について、市民サービスを確保した上で、委託化によるコストメリットを確認しながら支援していく。		有
担当課長氏名:		廣瀬 信	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性
	第2次職員数適正化計画の目標を達成することは、計画策定時には想定されていなかった消防署出張所の新設もあり厳しい状況にあるが、市民サービスに影響が出ないように努めながら、目標の達成に向けて最大限の努力をしていく。		有
担当部名	経営企画部	部長名	小村 亮一